

## 令和4年度の事業報告書

### NPO法人千葉子ども家庭支援センター

#### 1 事業の成果

##### (1) フリースクール事業

- 学校の保健室登校や適応指導教室などにも通えない児童生徒に学校の時間帯に安心して過ごせる場所を提供できた。また、不登校の期間によって学習の進度はまちまちであるが、パソコン教材を使って個別に学習指導をすることで、学習が効果的に進められた。
- 令和4年度末には中学3年生が4名在籍していたが、全員が高等学校（内1名は通信制）に進学した。
- 4人の児童生徒が在籍校に通えるようになった。
- フリースクールに通った児童生徒の延べ日数人数は小学4年生から中学3年生まで1,227名であった。今年度は通常通り4月から学校が始まっている。それぞれ理由は違うが、多くの子どもたちが参加でき、学校への復帰ができた子どももいた。

##### (2) 教員採用選考講座（5名が参加）

- 今年度は昨年に引き続き、集団面接の受け方を6月に、個別面接の受け方と模擬授業演習を夏休みに実施した。
- また、参加者数は昨年度より少なくなった。

##### (3) 相談事業

###### ア 相談事業

- 来室での相談やメールでの相談など多くの相談があった。
- 民間の補助を受けて教室内に相談コーナーをパーティションで仕切って作ることができた。
- 講演会後に相談に希望も多くあった。
- 生浜公民館主催の教育相談の依頼があり、1人当たり2時間半の相談を4回実施した。

###### イ 講演事業（HSC（Highly Sensitive Child）理解等）

- 千葉市教育センターリレー研修（教員2年目研修）
- 千葉市生涯学習センター講演会
- 新潟県新潟市での講演会
- 船橋市総合教育センターでの講演会
- 静岡県浜松市での講演会
- 民間補助金を活用して小冊子を作成し、千葉市内の小児科へ寄贈した
- 民間補助金を活用して講演の動画を作成し、YouTubeで放映をした
- 民間の補助金を活用してHSCの書籍を政令市の子育て担当部署に寄贈した

##### (4) 調査研究事業

- 「不登校児童生徒の学習支援とフリースクールとの連携事業」についての調査研究を受託し3月に報告をした。
- インターネットを活用した教材についての調査研究と学校や家庭との連携についての調査研究を行った。

## 2 事業の実施に関する事項

### (1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数
フリースクール事業	不登校の小中学生が午前、午後に分かれて学習を行う。心配事などに相談は希望により行う。	月～金	当センター	3人	不登校の小中学生 延べ日数人数 1,227人
教員採用選考講座	教員採用選考のための集団面接や個別面接の受け方や模擬授業の進め方について対面での講習を行い、面接は演習を行う。	6月1日～8月20日の2日間、また希望により日程を追加する	当センター	2人	教員採用選考受検者5人
相談事業	・子育て相談、不登校の相談、HSC相談 ・HSC講演	4月1日～3月31日不定期（依頼日）	当センター 他 依頼施設	2人	YouTubeによる講演配信 小冊子の制作と小児科への寄贈
調査研究事業	不登校児童生徒にインターネットを活用した学習支援を行い、学習の機会を確保するとともにインターネットを活用した学習支援をする際の留意事項や望ましい学校・保護者との連携の在り方について検証する。	5月1日～3月31日	当センター	3人	フリースクールに通う千葉市内の小中学校に籍を置く不登校児童生徒及び在籍校、家庭

### (2) その他の事業（定款に「その他の事業」として定めている場合のみ）

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数
なし				